

東京電機大学理工学部規則

平成22年3月9日

規 4 第 88 号

第1章 総 則

(趣旨)

第1条 この規則は、東京電機大学学則（以下「大学則」という。）第3条第3項に基づき、理工学部（以下「本学部」という。）の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的、学年及び学期、教育課程及び単位、成績及び卒業その他大学則施行上必要な事項を定める。

(人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的)

第2条 本学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

(1) 人材の養成に関する目的

高度に発展を続ける将来の科学技術分野では、科学技術者自身が社会的ニーズを的確に捉え自立した発想のもとに企画・開発していくことが望まれる。そのような科学技術者を「未来型科学技術者」として、その養成を目的とする。また、未来型科学技術者は同時に社会に立脚し、リーダーとしての魅力が望まれる。人間性および教養の豊かな研究者・技術者および学校教員の育成をも目的とする。

(2) 教育研究上の目的

基礎分野としての理学と応用分野としての工学・情報学を基盤として学系およびコースを構成し、それらよりなる複合分野の教育研究を推進することを目的とする。

2 本学部の理工学科における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、前項と同様とし、理工学科の各学系においては、次のとおりとする。

(1) 理学系

① 人材の養成に関する目的

理学系では、数理学及び自然科学における基本理論及び基本法則を身につけた、問題を本質的に捉えて解決できる応用力の高い理学分野の専門家を養成します。また、理学分野としての学校教員の育成をも目的とする。

② 教育研究上の目的

理学系では、数学及び自然科学を共通の基礎とし、演習や実験を行いながら理学の専門分野として、数学、物理学、化学及び数理情報学の四つの専門分野の教育を行います。また、自然の仕組みを解析し、理論的モデルを用いて表現、体系化することによって発展してきた近代の自然科学の諸分野を研究する。

(2) 生命科学系

① 人材の養成に関する目的

生命科学系では、生物が持つ高度な機能の本質を解明し理解すると同時に、それら機能の制御や活用を目指した教育と研究を通して、生命科学に関連する様々な課題に取り組む能力を備えた人材を養成する。

② 教育研究上の目的

生命科学系では、専門知識や技術を体系的に習得するとともに、学際領域を視野に入れた応用力や正しい倫理観を養うことにより、今後直面する生命科学分野の諸問題の解決に貢献できる人材の育成を目的とした教育研究を行う。

(3) 情報システムデザイン学系

① 人材の養成に関する目的

情報システムデザイン学系では、複雑化・高度化する社会環境において、高度な情報システム技術を駆使できると同時に、幅広い視野から自律的に分析・判断・企画・行動できる実践力とコミュニケーション能力を備えた次世代型スペシャリストを養成する。

② 教育研究上の目的

情報システムデザイン学系では、情報、ネットワーク、コンピュータに関わる知識・技術を基盤として人間、社会システムから、文化、芸術、アミューズメントにいたるまで文理複合的視点から幅広い分野の教育研究を行う。

(4) 機械工学系

① 人材の養成に関する目的

機械工学系では、機械工学の基礎となる（四つの）力学を身につけることに重点を置き、さらに、新しいものづくり技術に興味を抱き、環境にも配慮できる教養を備え、基幹産業を支える気概のある技術者の育成を目指す。

② 教育研究上の目的

我が国の産業の発展は、自動車、鉄道、航空機、造船など機械工学の発展とともにあったと言っても過言ではありません。産業分野の拡大と多様化に伴って、教育、研究分野も変化を遂げつつありますが、機械工学が直面する難題に粘り強く取り組むことのできる技術者の育成を目指す。

(5) 電子工学系

① 人材の養成に関する目的

電子工学系では、技術者として豊かな人間性と電気電子工学の知識と技術を有し、電子機器、医療機器、福祉機器、材料・デバイスなどの電子システムものづくりを通して、未来の人間社会に貢献できる技術者を養成する。

② 教育研究上の目的

電子工学系では、電気電子工学を基礎として、社会のニーズに応じた新しいものづくりや、起こりうる社会問題に対して、人間や環境に配慮した解決方法を見いだす能力を、教育研究を通じて養う。

(6) 建築・都市環境学系

① 人材の養成に関する目的

建築・都市環境学系では、人間と自然が調和する環境を多角的に考察し、社会基盤の創造と保全に寄与でき、持続可能な社会の構築に貢献できる技術者の養成を目的とする。

② 教育研究上の目的

建築・都市環境学系では、教育研究を通じて、社会が直面する諸問題を多面的に考察・評価し、解決方法を論理的に導き出す能力を培う。

第2章 学年及び学期

(学年・学期)

第3条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年を次の2つの学期に分ける。

前学期 4月1日から9月4日まで

後学期 9月5日から翌年3月31日まで

第3章 教育課程及び単位

(授業科目)

第4条 授業科目の区分は、共通教育科目、専門教育科目及び教職課程に関する科目とし、別表第1のとおり開講する。

(履修の要件)

第5条 本学部における履修の要件については、別表第2のとおりとする。

(履修単位の制限)

第6条 本学部では、1年間に履修できる単位数を44単位までとする。ただし、自由科目及び学部で指定した科目は、履修できる単位数の上限に含まない。

2 所定の単位を優れた成績をもって修得した者については、前項に定める上限を超えて、科目を履修することができる。履修方法は別に定める。

(教員の免許状授与の所要の資格の取得)

第7条 本学部において取得できる免許状の種類は大学別表第2とし、教職課程に関する科目及び必要な授業科目は別表第3とする。

第4章 成績及び卒業

(成績評価・単位認定)

第8条 本学部は大学則第27条に基づき、科目の成績評価を行う。

2 本学部における、成績評価及びGPA (Grade Point Average) ポイントは、次の評点区分に基づき行う。

| 評点 | 成績評価 | GPA ポイント |
|--------|------|----------|
| 90~100 | S | 4 |
| 80~89 | A | 3 |
| 70~79 | B | 2 |

| | | |
|-------|---|---|
| 60～69 | C | 1 |
| 0～59 | D | 0 |
| 放棄 | — | 0 |

(卒業)

第9条 本学部は、4年以上在学し、第5条別表第2に規定する履修の要件に従い、合計124単位以上を修得した者を卒業と認定する。

2 本学部は、大学則第32条第2項に定める卒業の基準を別に定める。

(退学勧告等)

第10条 学系長は、本学部が定める基準を満たさない者で、学修意欲が継続して欠如していると判断した場合、口頭にて教育的指導を行うとともに、退学予備勧告を行うことができる。

2 学部長は、退学予備勧告を受けた者が、本学部が定める基準をさらに満たさず、学修意欲が認められないと判断した場合、教授会の議を経て、退学を勧告することができる。

3 前各項の基準は、別に定める。

第5章 改正

(改正)

第11条 この規則の改正は、本学部教授会の議を経なければならない。

附 則

1 (施行期日)

(1) この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(2) この規則は、平成23年3月8日に第4条別表第1(理工学部の授業科目及び単位数)、第6条別表第3(理工学部における教職課程の履修方法)を改正し、平成23年4月1日から施行する。

(3) この規則は、平成23年6月16日に第4条別表第1(理工学部の授業科目及び単位数)を改正し、平成23年9月16日から施行する。

(4) この規則は、平成24年3月13日に第4条別表第1(理工学部の授業科目及び単位数)を改正し、第6条を追加し次条以下を繰り下げ、平成24年4月1日から施行する。

ただし、平成22年度以前に入学した者の履修単位の制限は、第6条第1項の定めにかかわらず、1年間に履修できる単位数を50単位までとする。ただし、自由科目及び学部で指定した科目は、履修できる単位数の上限に含まない。

(5) この規則は、平成25年3月12日に第4条別表第1(理工学部の授業科目及び単位数)を改正し、平成25年4月1日から施行する。

(6) この規則は、平成26年3月11日に第4条別表第1(理工学部の授業科目及び単位数)を改正し、平成26年4月1日から施行する。

- (7) この規則は、平成 27 年 3 月 24 日に第 10 条(退学勧告等)を追加し、次条以下を繰り下げ、第 4 条別表第 1 (理工学部の授業科目及び単位数)を改正し、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 26 年度以前に入学した者については、第 10 条の定めは適用しない。
- (8) この規則は、平成 27 年 3 月 24 日に第 8 条、第 9 条を改正し、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
- (9) この規則は、平成 28 年 3 月 8 日に第 4 条別表第 1 (理工学部の授業科目及び単位数)を改正し、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
- (10) この規則は、平成 29 年 3 月 14 日に第 2 条、第 4 条別表第 1 (理工学部の授業科目及び単位数)を改正し、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。
- (11) この規則は、平成 30 年 3 月 13 日に第 2 条、第 4 条別表第 1 (理工学部の授業科目及び単位数)、第 5 条別表第 2 (理工学部の履修要件)、第 7 条別表第 3 (理工学部における教職課程の履修方法)を改正し、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。
- (12) この規則は、平成 31 年 2 月 26 日に第 3 条 (学年・学期) 第 2 項、第 4 条別表第 1 (理工学部の授業科目及び単位数)、第 7 条別表第 3 (理工学部における教職課程の履修方法)を改正し、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
- (13) この規則は、令和 2 年 3 月 10 日に第 4 条別表第 1 (理工学部の授業科目及び単位数)、第 5 条別表第 2 (理工学部の履修要件)を改正し、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
- (14) この規則は、令和 3 年 3 月 9 日に第 4 条別表第 1 (理工学部の授業科目及び単位数)、第 7 条別表第 3 (理工学部における教職課程の履修方法)を改正し、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。
- (15) この規則は、令和 4 年 3 月 1 日に第 4 条別表第 1 (理工学部の授業科目及び単位数)、第 5 条別表第 2 (理工学部の履修要件)、第 6 条第 1 項 (理工学部における履修単位の制限)、第 7 条別表第 3 (理工学部における教職課程の履修方法)を改正し、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- (16) この規則は、令和 4 年 3 月 29 日に第 4 条別表第 1 (理工学部の授業科目及び単位数)を改正し、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1 理工学部の授業科目及び単位数

1. 共通教育科目

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|------------------------------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| [学部共通教育科目] 共通教育科目 | | | |
| [人間形成科目群] 東京電機大学で学ぶ 日本語リテラシー | | 2 | |
| 哲学 | | 1 | |
| 哲学特論 | | 2 | |
| 経済学 | | 2 | |
| 科学技術と経済 | | 2 | |
| 社会学 | | 2 | |
| 社会学特論 | | 2 | |
| 法学 | | 2 | |
| 科学技術者と法律 | | 2 | |
| 倫理学 | | 2 | |
| 倫理学特論 | | 2 | |
| 政治学 | | 2 | |
| 現代の国際政治 | | 2 | |
| 心理学 | | 2 | |
| 共生文化論 | | 2 | |
| 日本国憲法 | | 2 | |
| 戦争と平和の歴史 | | 2 | |
| 歴史学 | | 2 | |
| 科学技術史 | | 2 | |
| 生命倫理学 | | 2 | |
| 教育心理学 | | 2 | |
| 教育学概論 | | 2 | |
| 教育社会学 | | 2 | |
| 介護福祉論 | | 2 | |
| 世界経済の現在 | | 2 | |
| 経済学特論 | | 2 | |
| 日本の文化と倫理 | | 2 | |
| 現代青年の心理と論理 | | 2 | |
| 社会の成り立ち | | 2 | |
| 国際人権法 | | 2 | |
| 国際社会と法 | | 2 | |
| 欧米文化研究 | | 2 | |
| アジア文化研究 | | 2 | |
| 国際環境法 | | 2 | |
| 科学技術倫理ゼミ | | 2 | |
| キャリアワークショップ | | 2 | |
| 教養ゼミナールA | | 2 | |
| 教養ゼミナールB | | 2 | |
| 多文化コミュニケーションA | | 2 | |
| 多文化コミュニケーションB | | 2 | |
| ウェルネススポーツA | | 1 | |
| ウェルネススポーツB | | 1 | |
| スポーツ実習A | | 1 | |
| スポーツ実習B | | 1 | |
| スポーツ実習C | | 1 | |
| スポーツ実習D | | 1 | |
| アウトドア実習A | | 1 | |
| アウトドア実習B | | 1 | |
| 日本語中級I | | 1 | |
| 日本語中級II | | 1 | |
| 日本語上級I | | 1 | |
| 日本語上級II | | 1 | |
| 日本事情A | | 2 | |
| 日本事情B | | 2 | |

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|------------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| [英語科目群] | | | |
| 総合英語 I A | 1 | | |
| 総合英語 I B | 1 | | |
| コミュニケーション英語 I A | 1 | | |
| コミュニケーション英語 I B | 1 | | |
| 総合英語 II A | 1 | | |
| 総合英語 II B | 1 | | |
| コミュニケーション英語 II A | | 1 | |
| コミュニケーション英語 II B | | 1 | |
| 科学技術英語 A | | 1 | |
| 科学技術英語 B | | 1 | |
| 海外事情 | | 2 | |
| プレゼンテーション英語 A | | 1 | |
| プレゼンテーション英語 B | | 1 | |
| 海外英語研修 A | | 2 | |
| 海外英語研修 B | | 2 | |
| 海外英語研修 C | | 2 | |
| 海外英語研修 D | | 1 | |

2. 専門教育科目

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|------------------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| [専門基礎科目群] | | | |
| 技術者倫理 | 2 | | |
| 科学技術概論A | | 2 | |
| 科学技術概論B | | 2 | |
| 科学技術概論C | | 2 | |
| 科学技術概論D | | 2 | |
| 一般物理学実験 | | 1 | |
| 一般化学実験 | | 1 | |
| 基礎微積分学A | 2 | | |
| 基礎微積分学B | | 2 | |
| 基礎線形代数学A | 2 | | |
| 基礎線形代数学B | | 2 | |
| 物理学A | | 2 | |
| 物理学B | | 2 | |
| 化学A | | 2 | |
| 化学B | | 2 | |
| 情報リテラシー（数理・データサイエンス入門） | 2 | | |
| C言語プログラミング | | 2 | |
| Pythonプログラミング | | 2 | |
| 理学系 | | | |
| [学系共通科目群] | | | |
| 数学演習Ⅰ | | 2 | |
| 数学演習Ⅱ | | 2 | |
| 数理のふしぎ | | 2 | |
| 解析学Ⅰ | | 2 | |
| 線形代数学 | | 2 | |
| 代数学Ⅰ | | 2 | |
| 複素解析学 | | 2 | |
| 幾何学Ⅰ | | 2 | |
| 力学 | | 2 | |
| 電磁気学Ⅰ | | 2 | |
| 物理学実験 | | 2 | |
| 天文学 | | 2 | |
| 統計学Ⅰ | | 2 | |
| 量子力学Ⅰ | | 2 | |
| 量子力学Ⅱ | | 2 | |
| 物理数学Ⅰ | | 2 | |
| 物理数学Ⅱ | | 2 | |
| 基礎有機化学 | | 2 | |
| 有機化学Ⅰ | | 2 | |
| 機器分析 | | 2 | |
| 無機・分析化学 | | 2 | |
| 化学実験A | | 2 | |
| 化学熱力学Ⅰ | | 2 | |
| 地学実験 | | 2 | |
| 数理プログラミングⅠ | | 2 | |
| 数理プログラミングⅡ | | 2 | |
| 数理情報学入門 | | 1 | |
| 数理科学演習 | | 1 | |
| 常微分方程式 | | 2 | |
| 離散数学 | | 2 | |
| 確率論 | | 2 | |
| 統計学 | | 2 | |
| フーリエ解析入門 | | 2 | |
| 画像処理 | | 2 | |
| [コース専門科目群] | | | |
| 解析学Ⅱ | | 2 | |
| 解析学Ⅲ | | 2 | |
| 解析学Ⅳ | | 2 | |
| 代数学Ⅱ | | 2 | |
| 代数学Ⅲ | | 2 | |
| 代数学Ⅳ | | 2 | |

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|-------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| 幾何学Ⅱ | | 2 | |
| 幾何学Ⅲ | | 2 | |
| 数学セミナーⅠ | | 2 | |
| 数学セミナーⅡ | | 2 | |
| 数学特論 | | 2 | |
| 連続体の物理 | | 2 | |
| 振動と波動 | | 2 | |
| 物理学課題探求Ⅰ | | 2 | |
| 物理学課題探求Ⅱ | | 2 | |
| 化学熱力学Ⅱ | | 2 | |
| 統計力学Ⅱ | | 2 | |
| 量子力学Ⅲ | | 2 | |
| 固体物理学 | | 2 | |
| 電磁気学Ⅱ | | 2 | |
| 量子力学演習 | | 2 | |
| 統計力学演習 | | 2 | |
| 化学総合演習 | 2 | | |
| 界面化学 | | 2 | |
| 無機化学 | | 2 | |
| 化学反応速度論 | | 2 | |
| 基礎高分子科学 | | 1 | |
| 工業化学要論 | | 1 | |
| 有機・高分子化学 | | 2 | |
| 量子化学 | | 2 | |
| 化学実験B | | 2 | |
| 化学実験C | | 2 | |
| 人工知能 | | 2 | |
| データ科学 | | 2 | |
| 最適化法 | | 2 | |
| 深層学習 | | 2 | |
| 情報論 | | 2 | |
| 機械学習理論 | | 2 | |
| システム理論 | | 2 | |
| 制御理論 | | 2 | |
| 数理情報学基礎演習 | | 2 | |
| 数理情報学応用演習 | | 2 | |
| 数理情報学輪講 | | 2 | |
| 化学輪講Ⅰ | | 2 | |
| 理学総合演習 | 2 | | |
| 化学輪講Ⅱ | | 2 | |
| 理学特別卒業研究 | | 3 | |
| 理学卒業研究Ⅰ | 3 | | |
| 理学卒業研究Ⅱ | 3 | | |
| 理学インターンシップA | | 2 | |
| 理学インターンシップB | | 2 | |
| 情報と職業入門 | | 1 | |
| 情報と職業 | | 2 | |
| 情報倫理 | | | 2 |
| 生命科学系 | | | |
| [学系共通科目群] | | | |
| 生命科学概論 | | 2 | |
| 細胞の科学 | | 2 | |
| 生命科学 | | 2 | |
| 生物学 | | 2 | |
| 生化学 | | 2 | |
| 分子生物学 | | 2 | |
| 微生物学 | | 2 | |
| 遺伝子工学 | | 2 | |
| 基礎有機化学 | | 2 | |
| 有機化学Ⅰ | | 2 | |
| 生命物理化学 | | 2 | |
| 有機化学Ⅱ | | 2 | |
| 機器分析 | | 2 | |

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|----------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| 生体高分子科学 I | | 2 | |
| 生物統計学 | | 2 | |
| 生物情報科学 I | | 2 | |
| 生態地球科学 | | 2 | |
| 地学実験 | | 2 | |
| 生命科学キャリア開発ゼミ | | 2 | |
| 生命科学演習 I | | 2 | |
| 生命科学演習 II | | 2 | |
| 生命科学基礎実験 I | | 2 | |
| 生命科学基礎実験 II | | 2 | |
| [コース専門科目群] | | | |
| 生体組織学 | | 2 | |
| 免疫学 | | 2 | |
| 生物情報科学 II | | 2 | |
| 薬理学 | | 2 | |
| 再生医科学 | | 2 | |
| 生体材料学 | | 2 | |
| 生体高分子科学 II | | 2 | |
| 創薬化学 | | 2 | |
| 分子生命科学ゼミ | 2 | | |
| 分子生命科学総合ゼミ | 2 | | |
| 分子生命科学実験 I | 2 | | |
| 分子生命科学実験 II | 2 | | |
| 環境生物学 | | 2 | |
| 植物育種工学 | | 2 | |
| 環境計測学 | | 2 | |
| 生物プロセス工学 | | 2 | |
| 生命環境工学 | | 2 | |
| 食品製造学 I | | 2 | |
| 食品化学 | | 2 | |
| 食品製造学 II | | 2 | |
| 環境生命工学ゼミ | 2 | | |
| 環境生命工学総合ゼミ | 2 | | |
| 環境生命工学実験 I | 2 | | |
| 環境生命工学実験 II | 2 | | |
| 生命科学特別卒業研究 | | 3 | |
| 生命科学卒業研究 I | 3 | | |
| 生命科学卒業研究 II | 3 | | |
| 生命科学インターンシップ A | | 2 | |
| 生命科学インターンシップ B | | 2 | |
| 情報と職業入門 | | 1 | |
| 情報と職業 | | 2 | |
| 情報システムデザイン学系 | | | |
| [学系共通科目群] | | | |
| 造形デザイン入門 | | 2 | |
| デザイン学 | | 2 | |
| 音楽とデザイン | | 2 | |
| 美術・芸術学 | | 2 | |
| 色彩論 | | 2 | |
| 技術と表現 | | 2 | |
| 思考と試行 | | 2 | |
| 情報システムデザイン概論 | 2 | | |
| 情報産業論 | | 2 | |
| キャリア開発論 | | 1 | |
| 基本情報処理技術 | | 2 | |
| 地域貢献論 | | 2 | |
| コミュニケーション科学 | | 2 | |
| 情報数学 I | | 2 | |
| 基礎確率論 | | 2 | |
| 数値解析学 | | 2 | |
| アルゴリズムとデータ構造 I | | 2 | |
| 情報・符号理論 | | 2 | |
| 情報数学 II | | 2 | |

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|----------------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| コンピュータ基礎 | | 2 | |
| 電気基礎 | | 2 | |
| 論理回路 | | 2 | |
| オペレーティングシステム | | 2 | |
| コンピュータ設計学 | | 2 | |
| データベース | | 2 | |
| センサ工学 | | 2 | |
| 現代マスコミ論 | | 2 | |
| 業務システム設計論 | | 2 | |
| 情報ネットワーク概論 | | 2 | |
| 情報学基礎実習 | 2 | | |
| コンピュータプログラミング I・同演習 | 3 | | |
| コンピュータプログラミング II・同演習 | | 3 | |
| [コース専門科目群] | | | |
| アルゴリズムとデータ構造 II | | 2 | |
| 数理最適化入門 | | 2 | |
| 計算量と暗号 | | 2 | |
| 統計学 I | | 2 | |
| 統計学 II | | 2 | |
| ソフトウェア工学 | | 2 | |
| コンピュータグラフィックス | | 2 | |
| 数理とデザイン | | 2 | |
| 情報システム演習 I | | 2 | |
| 情報システム演習 II | | 2 | |
| 情報システム総合演習 | 2 | | |
| データ表現とプログラミング | | 2 | |
| ゲームプログラミング I | | 2 | |
| ゲームプログラミング II | | 2 | |
| オブジェクト指向プログラミング | | 2 | |
| 応用Javaプログラミング | | 2 | |
| 人工知能プログラミング I | | 2 | |
| CGプログラミング | | 2 | |
| 人工知能プログラミング II | | 2 | |
| 動的システム | | 2 | |
| 多変量解析 | | 2 | |
| 情報セキュリティ概論 | | 2 | |
| 組み込みシステム | | 2 | |
| UNIXプログラミング | | 2 | |
| 五感とデザイン | | 2 | |
| インタラクティブデザイン論 | | 2 | |
| 認知心理学 | | 2 | |
| 実験心理・行動科学 | | 2 | |
| データサイエンス入門 | | 2 | |
| 社会調査論 | | 2 | |
| 情報デザイン演習 I | | 2 | |
| 情報デザイン演習 II | | 2 | |
| 知能情報デザイン概論 | | 2 | |
| 情報デザイン総合演習 | 2 | | |
| 音楽構造論 | | 2 | |
| 映像制作論 | | 2 | |
| 出版メディア論 | | 2 | |
| メディア×カルチャー | | 2 | |
| 教育システムデザイン論 | | 2 | |
| 情報学ゼミ | 2 | | |
| 情報システムデザイン特別卒業研究 | | 3 | |
| 情報システムデザイン卒業研究 I | 3 | | |
| 情報システムデザイン卒業研究 II | 3 | | |
| 情報システムデザインインターンシップ A | | 2 | |
| 情報システムデザインインターンシップ B | | 2 | |
| 情報と職業入門 | | 1 | |
| 情報と職業 | | 2 | |
| 情報倫理 | | | 2 |

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|---------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| 機械工学系 | | | |
| [学系共通科目群] | | | |
| 工業力学Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 工業力学Ⅱ・演習 | | 3 | |
| 材料力学Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 流体力学Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 機械力学Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 工業熱力学Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 機械基礎演習 | 2 | | |
| 機械要素Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 機械加工学Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 機械工学入門 | | 2 | |
| 基礎製図 | | 4 | |
| 機械工学概論 | | 2 | |
| 数値解析A | | 2 | |
| 数値解析B | | 2 | |
| 基礎電気工学 | | 2 | |
| 基礎電子工学 | | 2 | |
| 機械総合演習Ⅰ | 2 | | |
| 機械総合演習Ⅱ | 2 | | |
| 機械総合演習Ⅲ | 2 | | |
| 機械総合演習Ⅳ | 2 | | |
| [コース専門科目群] | | | |
| 流体力学Ⅱ・演習 | | 3 | |
| 工業熱力学Ⅱ・演習 | | 3 | |
| 熱流体機械 | | 2 | |
| 機械材料 | | 2 | |
| 機械要素Ⅱ | | 2 | |
| 塑性力学 | | 2 | |
| CAD/CAE | | 2 | |
| 材料力学Ⅱ・演習 | | 3 | |
| 機械力学Ⅱ・演習 | | 3 | |
| 機械応用力学 | | 2 | |
| 計測工学 | | 2 | |
| 機械加工学Ⅱ | | 2 | |
| 制御工学 | | 2 | |
| ロボット工学 | | 2 | |
| 機械工学実験・実習Ⅰ | 1 | | |
| 機械工学実験・実習Ⅱ | 1 | | |
| 機械工学実験・実習Ⅲ | 1 | | |
| 機械工学実験・実習Ⅳ | 1 | | |
| 機械設計製図Ⅰ | 1 | | |
| 機械設計製図Ⅱ | 1 | | |
| 機械設計製図Ⅲ | 1 | | |
| 機械設計製図Ⅳ | 1 | | |
| 機械システムゼミ | | 2 | |
| 機械工学特別卒業研究 | | 3 | |
| 機械工学卒業研究Ⅰ | 3 | | |
| 機械工学卒業研究Ⅱ | 3 | | |
| 機械工学インターンシップA | | 2 | |
| 機械工学インターンシップB | | 2 | |
| 情報と職業入門 | | 1 | |
| 情報と職業 | | 2 | |
| 工業技術概論 | | | 2 |
| 職業指導 | | | 2 |
| 電子工学系 | | | |
| [学系共通科目群] | | | |
| 電子工学概論 | | 2 | |
| 電気回路Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 電気回路Ⅱ・演習 | | 3 | |
| 電磁気学Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 電磁気学Ⅱ・演習 | | 3 | |
| 電子情報回路Ⅰ・演習 | | 3 | |

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|-----------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| 電子情報回路Ⅱ・演習 | | 3 | |
| 過渡現象 | | 2 | |
| 電子工学ゼミA | | 2 | |
| 工業数学Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 工業数学Ⅱ・演習 | | 3 | |
| コンピュータ工学Ⅰ | | 2 | |
| コンピュータ工学Ⅱ | | 2 | |
| 生理学 | | 2 | |
| 制御工学Ⅰ・演習 | | 3 | |
| 制御工学Ⅱ・演習 | | 3 | |
| 電子工学特別講義 | | 2 | |
| [コース専門科目群] | | | |
| 電気電子計測工学 | | 2 | |
| 信号処理工学A | | 2 | |
| 信号処理工学B | | 2 | |
| 応用数値解析 | | 2 | |
| 応用プログラミング | | 2 | |
| 通信工学 | | 2 | |
| 電子物理学 | | 2 | |
| 電子デバイス工学 | | 2 | |
| デジタル回路 | | 2 | |
| 医用電子工学 | | 2 | |
| 人工臓器学 | | 2 | |
| 生体情報工学 | | 2 | |
| メカトロニクス | | 2 | |
| 基礎電子工学実験Ⅰ | | 2 | |
| 基礎電子工学実験Ⅱ | | 2 | |
| 電子情報工学実験Ⅰ | | 2 | |
| 電子情報工学実験Ⅱ | | 2 | |
| 電子工学ゼミB | | 2 | |
| 電子工学系総合演習 | 2 | | |
| 先端エレクトロニクス概論 | | 2 | |
| 人間工学 | | 2 | |
| 材料学 | | 2 | |
| パワーエレクトロニクス | | 2 | |
| エネルギー変換工学 | | 2 | |
| 電子システム工学実験Ⅰ | | 2 | |
| 電子システム工学実験Ⅱ | | 2 | |
| 電子工学特別卒業研究 | | 3 | |
| 電子工学卒業研究Ⅰ | 3 | | |
| 電子工学卒業研究Ⅱ | 3 | | |
| 電子工学インターンシップA | | 2 | |
| 電子工学インターンシップB | | 2 | |
| 情報と職業入門 | | 1 | |
| 情報と職業 | | 2 | |
| 情報倫理 | | | 2 |
| 工業技術概論 | | | 2 |
| 職業指導 | | | 2 |
| 建築・都市環境学系 | | | |
| [学系共通科目群] | | | |
| 建築・都市環境学へのアプローチ | 1 | | |
| 立体図学 | | 1 | |
| 建築・都市デザイン概論 | 2 | | |
| 基礎統計学 | 2 | | |
| 計画数理 | | 2 | |
| 静力学 | 2 | | |
| 応用力学A・演習 | 3 | | |
| 応用力学B | | 2 | |
| 鉄筋コンクリート工学 | | 2 | |
| 鋼構造学 | | 2 | |
| 構造実験 | | 1 | |
| 地盤工学A・演習 | 3 | | |
| 地盤工学B | | 2 | |

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|------------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| 土質実験 | | 1 | |
| 水理学A・演習 | 3 | | |
| 水理学B | | 2 | |
| 水理実験 | | 1 | |
| 測量学・演習 | 3 | | |
| 測量実習 | 2 | | |
| 建設材料学 | | 2 | |
| 材料実験 | | 1 | |
| 建設施工 | | 2 | |
| [コース専門科目群] | | | |
| 建築法規 | | 1 | |
| 住居論 | | 2 | |
| 建築計画学 | | 2 | |
| 建築史 | | 2 | |
| 建築設備 | | 2 | |
| 建築デザイン論 | | 2 | |
| 建築環境工学 | | 2 | |
| 耐震設計法 | | 2 | |
| 建築構法 | | 2 | |
| 都市計画 | | 2 | |
| 交通計画 | | 2 | |
| 景観デザイン | | 2 | |
| 河川・海岸計画 | | 2 | |
| 空間情報工学 | | 2 | |
| 防災工学 | | 2 | |
| 都市プロジェクトの評価 | | 2 | |
| 水圏の環境 | | 2 | |
| 気圏・地圏の環境 | | 2 | |
| リモートセンシング | | 2 | |
| 都市衛生工学 | | 2 | |
| 水文学 | | 2 | |
| 環境アセスメント | | 2 | |
| 地球観測 | | 2 | |
| 建築都市デザイン演習Ⅰ | 3 | | |
| 建築都市デザイン演習ⅡA | 2 | | |
| 建築都市デザイン演習ⅡB | 2 | | |
| 建築都市デザイン演習ⅢA | | 2 | |
| 建築都市デザイン演習ⅢB | | 2 | |
| 建築・都市環境総合演習 | 2 | | |
| 建築・都市環境特別卒業研究 | | 3 | |
| 建築・都市環境卒業研究Ⅰ | 3 | | |
| 建築・都市環境卒業研究Ⅱ | 3 | | |
| 建築・都市環境インターンシップA | | 2 | |
| 建築・都市環境インターンシップB | | 2 | |
| 情報と職業入門 | | 1 | |
| 情報と職業 | | 2 | |
| 工業技術概論 | | | 2 |
| 職業指導 | | | 2 |
| オナーズプログラム | | | |
| [コース専門科目群] | | | |
| オナーズプログラムA | | 2 | |
| オナーズプログラムB | | 2 | |

3. 教職課程に関する科目

① 教科及び教科の指導法に関する科目 各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|---------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| 数学科指導法 | | | 4 |
| 理科学指導法 | | | 4 |
| 数学科教育法 | | | 4 |
| 理科教育法 | | | 4 |
| 工業科教育法 | | | 4 |
| 情報科教育法 | | | 4 |

② 教育の基礎的理解に関する科目等

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|-----------------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| 教育学概論 | | 2 | |
| 教職入門 | | | 2 |
| 教育社会学 | | 2 | |
| 教育心理学 | | 2 | |
| 特別支援教育 | | | 1 |
| 教育課程論 | | | 2 |
| 道徳理論と指導法 ※ | | | 2 |
| 総合的な学習の時間の指導法 | | | 1 |
| 特別活動論 | | | 1 |
| 教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む） | | | 2 |
| 生徒・進路指導論 | | | 2 |
| 教育相談 | | | 2 |
| 教育実習セミナー | | | 2 |
| 教育実習Ⅰ | | | 2 |
| 教育実習Ⅱ | | | 2 |
| 教職実践演習（中・高） | | | 2 |

③ 大学が独自に設定する科目

| 授業科目の名称 | 単位数 | | |
|------------|-----|----|----|
| | 必修 | 選択 | 自由 |
| 介護福祉論 | | 2 | |
| 介護等体験特論 | | | 1 |
| 道徳理論と指導法 ※ | | | 2 |

※「道徳理論と指導法」は中学校教諭一種免許状取得時は②の区分の科目として、高等学校教諭一種免許取得時は③の区分の科目として取扱う。

別表第2 理工学部履修要件

理工学部においては、次により124単位以上を履修し、修得しなければならない。

| 区 分 | | 単 位 数 | |
|----------------|----------|--------|-------|
| | | 理工学科 | |
| 共 通 教 育 科 目 | 人間形成科目群 | | 16単位 |
| | 英語科目群 | | 8単位 |
| 専 門 教 育 科 目 | 専 門 基 礎 | 技術者倫理 | 2単位 |
| | | 数学 | 6単位 |
| | | 自然科学技術 | 8単位 |
| | | 情報 | 4単位 |
| | 学系共通科目群 | | 80単位 |
| | コース専門科目群 | | |
| 合 計 | | | 124単位 |

備考

- 1 学科において定めている必修科目の単位の全部を履修し、修得しなければならない。

別表第3 理工学部における教職課程の履修方法

① 教科及び教科の指導法に関する科目

| 免許状の種類 | 免許教科 | 免許法施行規則に定める科目区分 | | 履修方法 |
|-------------|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高等学校教諭一種免許状 | 工業 | 教科に関する専門的事項 | 工業の関係科目 職業指導 | 教科に関する専門的事項に関する科目の単位は、それぞれの科目について1単元以上計20単元以上修得すること。 各教科の指導法に関する科目の単位は、中学校教諭一種免許状にあたっては8単元以上、高等学校教諭一種免許状取得にあたっては4単元以上修得すること。 |
| | | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 工業科教育法 | |
| | 数学 | 教科に関する専門的事項 | 代数学 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ | |
| | | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 数学科教育法 | |
| | 理科 | 教科に関する専門的事項 | 物理学 化学 生物学 地学 「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」 | |
| | | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 理科教育法 | |
| 情報 | 教科に関する専門的事項 | 情報社会・情報倫理 コンピュータ・情報処理（実習を含む。） 情報システム（実習を含む。） 情報通信ネットワーク（実習を含む。） マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。） 情報と職業 | | |
| | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 情報科教育法 | | |
| 中学校教諭一種免許状 | 数学 | 教科に関する専門的事項 | 代数学 幾何学 解析学 「確率論、統計学」 コンピュータ | |
| | | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 数学科教育法 数学科指導法 | |
| | 理科 | 教科に関する専門的事項 | 物理学 物理学実験（コンピュータ活用を含む。） 化学 化学実験（コンピュータ活用を含む。） 生物学 生物学実験（コンピュータ活用を含む。） 地学 地学実験（コンピュータ活用を含む。） | |
| | | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 理科教育法 理科指導法 | |

② 教育の基礎的理解に関する科目等

| 授業科目名 | 単位数 | 履修方法 | |
|-----------------------|-----|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 教育学概論 | 2 | 中学校教諭一種免許状取得にあたっては左記の科目を全て必ず修得すること。 | |
| 教職入門 | 2 | | |
| 教育社会学 | 2 | | |
| 教育心理学 | 2 | | |
| 特別支援教育 | 1 | | |
| 教育課程論 | 2 | | |
| 道徳理論と指導法 | 2 | | |
| 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | | |
| 特別活動論 | 1 | | |
| 教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む） | 2 | | 高等学校教諭一種免許状取得にあたっては左記の科目のうち「道徳理論と指導法」及び「教育実習Ⅱ」以外の科目を必ず修得すること。 |
| 生徒・進路指導論 | 2 | | |
| 教育相談 | 2 | | |
| 教育実習セミナー | 2 | | |
| 教育実習Ⅰ | 2 | | |
| 教育実習Ⅱ | 2 | | |
| 教職実践演習（中・高） | 2 | | |

③ 大学が独自に設定する科目

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 履修方法 |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大学が独自に設定する科目 | 中学校教諭一種免許状取得にあたっては、指定科目の「介護福祉論」及び「介護等体験特論」を必ず修得すること。 高等学校教諭一種免許状取得にあたっては、最低修得単位24単位を超えて履修した「①教科及び教科の指導法に関する科目」、最低修得単位23単位を超えて履修した「②教育の基礎的理解に関する科目等」及び「③大学が独自に設定する科目」の指定科目の中から、併せて12単元以上修得すること。 |

④ 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

| 免許法施行規則に定める科目 | 履修方法 |
|---------------|-------------------|
| 日本国憲法 | それぞれ2単元以上を修得すること。 |
| 体育 | |
| 外国語コミュニケーション | |
| 情報機器の操作 | |